

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第48週	第47週	第48週		第47週		第48週		第47週		第48週		第47週		第48週		第47週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	104	64	19	16	12	14	15	15	11	11	0	0	0	0	4	1	1	3
咽頭結膜熱	28	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	115	98	21	0	20	0	4	0	4	0	0	0	0	0	17	0	16	0
感染性胃腸炎	219	166	35	17	37	16	26	6	31	1	0	4	0	5	9	7	6	10
水痘	34	15	5	5	1	3	1	3	0	3	0	0	0	0	4	2	1	0
手足口病	54	104	6	4	15	8	4	2	11	2	2	1	1	0	0	1	3	6
伝染性紅斑	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	24	26	2	0	5	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0
百日咳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	5	14	0	0	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	23	26	3	10	8	27	0	1	0	0	0	3	1	0	3	6	7	27
RSウイルス感染症	30	43	1	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	17	7	0	0	0	1	0	0	0	1	/	0	/	0	/	0	/	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈県中地域でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています〉

県中地域で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、春～初夏、冬季にかけて流行がみられる上気道の感染症です。主に、突然の発熱、全身倦怠感、咽頭痛、莓舌などの症状がみられ、合併症として、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを生ずることもあります。予防としては、患者との濃厚接触を避けるとともに、手洗いなどの一般的な予防法を励行することが重要です。

インフルエンザの流行が始まりました

県内の1 定点当たりのインフルエンザ患者報告数が流行開始の目安となる1.00を超えました。今後、本格的な流行が予想されます。



インフルエンザの予防について

① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、また、咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけてください。

③ 外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

④ 適度な湿度の保持

乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが有効です。

詳しい情報は厚生労働省ホームページをご覧ください
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp